

平成32年度学士課程入試について

1 入試日程と募集人員

■学群、入学定員、募集人員

学群		システム工学群	環境理工学群	情報学群	経済・マネジメント学群	
入学定員		170	90	100	160	
募集人員	一般入試	前期日程 A方式	80	50	40	40
		前期日程 B方式	20		10	20
		前期日程 C方式				15
		後期日程	20	15	10	15
		後期日程(センターのみ)		5		
		計	120	70(65)	60	90
	特別選抜	推薦入試	10(10) 40(20)	15(5)	若干名 40(25)	50
		特別推薦入試				若干名
		推薦特待生入試	若干名	若干名	若干名	若干名
		推薦入試(センターあり)		10(5) 高知県内:5名		
		AO入試	40(20) 高知県内:10名		40(25)	20
		社会人特別選抜	若干名	若干名	若干名	若干名
		計	50(30)	25(10) 20(10)	40(25)	70(40)

※ ()内は高知県内高等学校校、内数

※ 合否は志望学群ごとに判定します。

AO入試日程 (予定：日付については変更の可能性がある)

システム工学群・情報学群

学群・募集区分		出願期間	選考	合格発表日	入学手続期間
システム工学群		平成31年8月19日(月)	平成31年9月15日(日)・ 16(月)の両日 ※1	平成31年9月25日(水)	平成31年9月26日(木)
情報学群	A区分	~			~
	B区分	平成31年8月23日(金)			平成31年10月4日(金)

※1: 志願者数によっては1日のみで実施する場合がある。その場合は受験票の通信欄にて通知する。

※選考日の翌週の土日を予備日とする。

経済・マネジメント学群

学群・募集区分		出願期間	第1次選考	第1次選考 結果通知	第2次選考 学力検査等	合格発表日	入学手続期間
経済・マネジメント 学群	数学区分	平成31年8月19日(月)	8月下旬~9月上旬	平成31年9月5日(木)	平成31年9月15日(日)	平成31年9月25日(水)	平成31年9月26日(木)
	英語区分	~					~
	スポーツ区分	平成31年8月23日(金)					平成31年9月15日(日)・ 16(月)の両日

※経済・マネジメント学群において、第2次選考の詳細については、第1次選考結果とともに対象者に通知する。

※選考日の翌週の土日を予備日とする。

2 主な変更点

(1) システム工学群

- ・推薦入試とAO入試の募集人員を変更

AO入試 : 10 (10) → 40 (20)

推薦入試 : 40 (20) → 10 (10)

推薦入試を高知県内枠のみとし、AO入試を県外にも広げる。

- ・AO入試の選抜方法を変更

2段階選抜の廃止。

学群適性検査 (物理) → 学群適性検査 (物理と数学のうちから1つを選択)

**物理と数学の出題範囲については現在検討中です。(近日中に決定予定)
決定次第、本学ホームページにて公開いたします。**

適性検査の配点を200点満点から300点満点に変更する。

- ・推薦入試の選抜方法を変更

面接 : 口頭試問を含む場合がある。→ 口頭試問を含む。

(2) 環境理工学群

- ・一般入試後期日程 (センターのみ) 区分を廃止 (▲5名)

- ・推薦入試 (センターあり) の募集人員と選抜方法を変更

募集人員 : 5 (5) → 10 (5)

提出書類 : 提出書類に志望理由書を加える。

選抜方法 :

【変更前】

<センター試験の科目> 数学Ⅰ・A、数学Ⅱ・B、理科②2科目 (物理、化学、生物、地学から2科目) の計4科目 (各科目100点の400点満点) ※400点中240点以上を合格対象とする。



【変更後】

<センター試験> 以下①~③の3科目 (各科目100点/300点)

①外国語と国語のどちらか高得点1科目

②数学Ⅰ・Aと数学Ⅱ・Bのどちらか高得点1科目

③理科②1科目 (物理、化学、生物、地学から高得点1科目)

※上記センター試験3科目300点に書類(100点)を加え、400点満点中

240 点以上を合格対象とする。

- ・国語についてはセンター試験の点数を 1/2 倍して 100 点とする。
- ・英語についてはリスニングを含み、筆記（200 点）とリスニング（50 点）の合計点を 2/5 倍して 100 点とする。ただし、リスニング免除の場合は筆記（200 点）を 1/2 倍して 100 点とする。
- ・英語以外の外国語については、筆記（200 点）を 1/2 倍して 100 点とする。

- ・推薦入試の選抜方法を変更

面接：口頭試問を含む場合がある。→口頭試問を含む。

(3) 情報学群

- ・推薦入試の募集人員を変更

募集人員：40(25) → 若干名 (▲40名)

- ・AO入試を新設

①募集人員：40(25)

情報学群	A区分 (面接重視型)	40(25)
	B区分 (適性検査重視型)	

②アドミッション・ポリシー：

情報学に対する興味と明確で適切な目的意識を持ち、情報系技術者になる適性があることが求められます。具体的には、

- ・広い興味を持ち、主体的に真理を求める積極性と探究心、
- ・問題を正しく理解し、論理的に考察して、自分の考えを的確に伝えられる能力、
- ・問題解決にねばり強く打ち込む精神力

が望まれます。また、

- ・高い協調性や専門領域でリーダーシップをとり活躍できる能力、
- ・専門領域で活躍できる高度な思考力

も評価します。これらの観点から、学群適性検査、面接と提出書類によって選抜します。

③出願資格：

次の①～④のいずれの条件も満たす者。

- ①本学および情報学群のアドミッション・ポリシーに賛同し、情報学群で学びたいという強い意志を有する者
- ②平成32年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者、または高等専門学校第3学年を修了見込みの者
※高知県内高等学校卒・・・平成32年3月に高知県内の高等学校を卒業見込みの者、または高知県内の高等専門学校の第3学年を修了見込みの者
- ③合格した場合に入学を確約できる者
- ④A区分においては、調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者

④日程：

学群・募集区分		出願期間	選考	合格発表日	入学手続き期間
情報学群	A区分	平成31年8月19日(月)	平成31年9月15日(日)・16(月)の両日 ※1	平成31年9月25日(水)	平成31年9月26日(木)
	B区分	平成31年8月23日(金)			平成31年10月4日(金)

※1: 志願者数によっては1日のみで実施する場合があります。その場合は受験票の通信欄にて通知する。

※選考日の翌週の土日を予備日とする。

⑤選抜方法：

選考区分	選考方法
A区分 (面接重視型)	学群適性検査、個別面接(20分程度)、提出書類による総合判定 学群適性検査は次の(1)～(3)のうちいずれか1つを選択して筆記で解答する。 (1)数学①: 微分法(数学IIの範囲) (2)数学②: 場合の数 (3)プログラミング: 考え方・手順の作成(条件分岐・繰り返し・一次元配列) (受験者数によっては個別面接を集団面接に変更する場合があります。)
B区分 (適性検査重視型)	学群適性検査、集団面接(15分程度)、提出書類による総合判定 学群適性検査は次の(1)～(3)のうちから2つを選択して筆記で解答する。 (1)数学①: 微分・積分(ただし数学IIIの範囲は「極限」と「微分法」の範囲に限る) (2)数学②: 場合の数・集合・数列 (3)プログラミング: 考え方・手順の作成・手順の理解

⑥提出書類：

調査書、志望理由書

⑦試験教科・科目・配点等：

A区分(面接重視型)			
教科等	科目等	配点	試験時間
学群適性検査	次の(1)～(3)のうちいずれか1つを選択して筆記で解答する。 (1)数学①:微分法(数学IIの範囲) (2)数学②:場合の数 (3)プログラミング:考え方・手続の作成 (条件分岐・繰り返し・一次元配列)	50点	40分
個別面接	提出書類等の内容を含め、複数の面接担当者による個別面接(20分程度)を行う。ただし、志願者が多い場合、集団面接に変更する場合もある。	200点	20分
書類審査	提出書類(調査書、志望理由書)を総合的に評価する。	100点	
B区分(適性検査重視型)			
教科等	科目等	配点	試験時間
学群適性検査	次の(1)～(3)のうちから2つを選択して筆記で解答する。 (1)数学①:微分・積分 (ただし数学IIIの範囲は「極限」と「微分法」の範囲に限る) (2)数学②:場合の数・集合・数列 (3)プログラミング:考え方・手続の作成・手続の理解	250点	120分
集団面接	提出書類等の内容を含め、複数の面接担当者による集団面接(15分程度)を行う。	50点	15分
書類審査	提出書類(調査書、志望理由書)を総合的に評価する。	50点	